

**「第2次さぬき市総合計画中期基本計画」策定
にかかると市民ワークショップ実施報告書**

平成30年8月

目 次

1	ワークショップの概要.....	1
	(1) ワークショップの目的.....	1
	(2) ワークショップの実施テーマ.....	1
	(3) ワークショップのプロセス.....	2
	(4) ワークショップの全体像.....	2
2	ワークショップの手法.....	3
	(1) ワークショップとは.....	3
	(2) 「ワールド・カフェ」とは.....	3
	(3) 特徴.....	3
	(4) 実施手順.....	4
3	ワークショップ内容のまとめ.....	6
	(1) 開会・あいさつ.....	6
	(2) オリエンテーション.....	6
	(3) テーブルに分かれて「語り合う」.....	6
	(4) 「これ必要カード」へ記入.....	7
	(5) 話し合いの内容.....	8
5	参考資料.....	20
	(1) テーブルクロスご意見.....	20

1 ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

市民参画の視点からも、計画策定の過程で市民の皆さんの意見を聴取する機会となるよう、市民が「楽しく、積極的」に参画できる「ワールド・カフェ方式」によるワークショップを実施しました。

また、ワークショップでの意見をもとに、今後のさぬき市に必要な取り組みについて検討するとともに、市の魅力の再発見や市への愛着の醸成につながるような視点をふまえたものとなりました。



(2) ワークショップの実施テーマ

さぬき”Machi Cafe”で語り合う わがまちの未来
～住みたくなる、住み続けたくなるさぬき市をめざして～

さぬき市を「住みたくなる、住み続けたくなるまち」にするために必要なもの、理想のさぬき市の実現に向けてのアイデアやさぬき市の課題などについて、意見交換を実施しました。



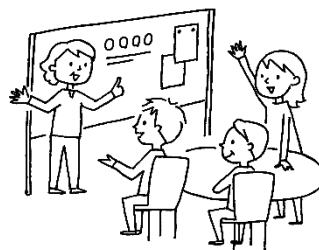
(3) ワークショップのプロセス

ワークショップには大学生や若手職員、市内に在住・在勤する市民を中心に参加いただき、実施しました。

実施手法については、「語り合い」を中心とした「ワールド・カフェ」方式と呼ばれる手法を用いて実施しました。

■ワークショップ開催スケジュール

実施日時	参加人数
平成 30 年 8 月 4 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00	47 名



(4) ワークショップの全体像

ワークショップテーマ「これからも住み続けたい さぬき市にはこれが必要！」

- ① 今回のワークショップの主旨、実施方法についての説明、アイスブレイクの実施
- ② ワールド・カフェ方式で話し合い、席移動もしながら、意見を出し合っていた
- ③ 最後に、語り合いを通じて、「とりまとめカード」を作成
- ④ とりまとめカードの共有（ギャラリーウォーク）



2 ワークショップの手法

(1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなく体や心を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

(2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、話し合いの方法の一種です。



(3) 特徴

- アイディア出しをする際に効果的な手法です。
- 年齢や職業にとらわれない参加者同士の自由な対話を行えます。
- 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。
- 最終的に一つの結論を出す収束型ではないため、決め事をするときには不向きです。

(4) 実施手順

ワールド・カフェの基本手順は次の通りです。

【第1ラウンド】

①はじめに座った席での話し合い【第1ラウンド】

5人～6人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。



②テーブルにつき1名を残して別々に移動

時間がきたら第1ラウンド終了です。1名だけ“テーブルホスト”として、テーブルに残ってもらいます。他の方は“旅人”として、別々のテーブルへ移動します。



【第2ラウンド】

③次に座った席での話し合い【第2ラウンド】

続いて、新たに集まったメンバー5人～6人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。

初めにテーブルホストより、第1ラウンドでそのテーブルで行われた話し合いの概要を説明し、それぞれ新たに集まったメンバーからは各テーブルで出た内容を簡単に説明してもらいます。

第1ラウンドと同様に、その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。



【第3ラウンド】

④最初に座った席での話し合い【第3ラウンド】

最初に座った席でテーマに基づいて、ラウンド1、ラウンド2で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。

⑤プロジェクトカードを記入する

話し合った内容をプロジェクトカードにとりまとめていただき、最後にギャラリーウォーク形式で全体共有を行います。



3 ワークショップ内容のまとめ

(1) 開会・あいさつ

事務局からの連絡事項のあと、大山市長から参加者皆さんへ開会のあいさつをいただきました。



の

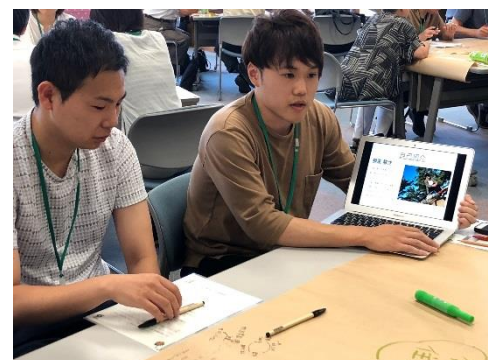
(2) オリエンテーション

参加者の皆さんにテーマの説明や総合計画についての概要説明を行いました。また、アイスブレイクを挟み、ワークショップ実施についての目的や趣旨の共有を図るとともに、ワールド・カフェの方法について説明を行いました。



(3) テーブルに分かれて「語り合う」

テーブルに分かれて「これからも住み続けたいさぬき市にはこれが必要！」について、語り合いました。その際、テーブルクロスにたくさんのアイデアや意見を書き込んでいただきました。



(4) 「これ必要カード」へ記入

最後に、今回の語り合いの中で出来てきた意見をもとに「さぬき市プロジェクトカード」を作成いただき、参加者の意見をとりまとめました。

カードには、「プロジェクト名」「さぬき市の磨き上げポイント（強み・弱み）」「プロジェクトの説明」をとりまとめていただきました。



(5) 話し合いの内容

プロジェクトカードへ記入いただいた内容の分類分けを行いました。

大項目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
情報発信(P.R)	SNSでの宣伝	SNSの広告による観光地のPR 広告をクリックした後に飛ぶサイトの準備→現状では分かりにくい。必要な情報が取れない。情報もデザインも古い。 いいなと感じてもらった人に必要な情報を確実に手にとってもらえるサイト	SNS活用
	さぬき市の観光地アピール	さぬき市以外からの集客も大切だが、まず、さぬき市民に対しても魅力をアピールしていく。あるものを活かして活力のあるまちづくりをしていく。突発的→続けていく努力をして変化・改革をしていく気持ちで。	インナープロ モーション
	インスタ フォロワー数UP作 戦	災害の少ないさぬき市を全国に広める。海・里・山の生きる力をPRする。 ・広報、TV局へのニュース配信 ・インスタ発信 ・住みたくなるさぬき市へ ・職場の創出 ・2世代3世代同居への補助(行政)	SNS活用 周知方法
	さぬき市 情報発信強化	さぬき市のユーチューバーを作る。 SCNをYoutubeなど動画サイトからも見れるようにする。 子どもと高齢者の交流の場を作る。 大手企業誘致→災害が少ないことをPRし、都会の企業を呼び込む。 ツイッター、インスタなどSNSの普及。 聖地を作る。(アニメ、ドラマ、映画、小説、漫画など)	SNS活用
	住みたくなるまち	広報はSNS、Youtube、ツイッターなどの活用。(テレビ局なども情報源はインターネット) さぬき市PRユーチューバー。 農業、漁業などの企業があればいいものを販売でき雇用も幅広い年齢の方がこれる。	SNS活用
	PR方法	さぬき市は何でもあるが、これぞと思うことをひとつPRする。(あれもこれもとは考えない)よそ者をパッと集めてSNSで発信してもらう。	SNS活用 PR方法
	—	若い世代が集まる(遊べる)場所、施設の整備。せっかく海、山があるのにもったいない！ 若い人を呼ぶ→人気が出る→ツイッター、インスタで広い世代に広まる！住むにはよいところだが、遊べるところはない。という声が多い。	SNS活用

大項目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
情報発信（PR）	情報拡散しよう	海や山もあって、物もかなり揃っているの、良いところである。行政の方も色々やっているが、自分たちの方から調べないと何をやっているのか分からないので、伝わっていない。SNSなどもやっているみたいだが、もっと工夫が必要→新聞などにも情報を載せるようにしたらどうか。四国新聞にはあまり載っていない。	PR方法
	おい！集まれ	環境よし、食べ物よし、何でもあるが発信できてない。若者が住めるように集まれる施設、遊べる施設、買物ができる施設をつくろう。 温泉では若者は来ないぞ！ 農業法人を立ち上げ、高齢者の再々就職を！	PR方法
	地元の起業ファイト作戦	「靴、自転車、手袋、人、いろいろ」地元の素晴らしい企業や個人をケーブルテレビで紹介→ネットに載せる(SNS) クアタラソを利用する	SNS活用
	—	災害が少ない→PR方法→SNSなど 移動手段→コミュニティバス→必要な時間、場所のアンケート（デイサービスなどで） コミュニティバスと分かる工夫→ラッピングカーにするなど（三木は獅子舞）	SNS活用
	住み続けたくなる町をPRする	観光、来たくなる町、市のHPなどに写真、行事などを広く積極的にPRして発信する。 小学校などを統合してその空き地利用の計画。いろいろな施設、観光地などへのアクセスの整備、住民の足の確保。	PR方法
	老いも若きも住みたくなるまち	さぬき市のSNSがあるが、活かしきれていない。自然や上がり三ヶ寺だけでなく、さぬき市の良いところ悪いところを見つけSNSで毎日発信していく。インスタ、ツイッターラインをどんどん活かしてさぬき市に興味をもってもらうことから始めると良いかもしれない。	SNS活用
	外だけでなく内側から香川県さぬき市を知る	自然や教育環境の良さを活かしきれていない！！ 活かすための広報力(とりあえずSNSで)や交通の便利さが無い。 聖地巡礼。 SCNニュースをYoutubeに！→いつでも見られる。 デマンドタクシー(安くタクシーを利用)やコミュニティバス(JRやことでんの時刻表と連携してよい)を活かす。 待機児童の少なさ→他県の待機児童も受け入れられる。	PR

大項目	プロジェクト名	説明	その他キーワード
移住定住	さぬき市 住みでも飲み隊！！	<p>若者の定着に、今足りないものは何なのか。 「遊ぶところ、遊べる環境」「就職先」 高齢者への支援のひとつにタクシーチケットなるものがあるが、若い世代へは・・・。 飲みに行く際の手段は、歩き、車、チャリ、電車、バス。 車→飲めない。 歩き、チャリ→行ける所が限られる 電車、バス→終電問題 タクシー→高い コミュニティバスの夜間運行は？タクシー負担を軽減させる方法は？飲み屋も少ない。住む所も少ない。→シェアハウス→賃金あげて。 ◎力を入れる↓ 働き先が高松になっても、さぬき市に住みたいと思うようなまちに。子育て世代支援充実。 企業を呼び込む(これは県全体で取り組んでほしい) 防災・・・南海トラフ怖い。 交通機関の見直し</p>	若者定着 子育て支援
	若者と高齢者がバランスよく住める町	<p>高齢者がいきいきと出来る場所や文化的施設がありディサービスだけでない充実の自己啓発や前向きに生きることができる方法を考える。 子どもが外に出て遊べる公園や、仲間づくりのできる場所の充実。 大学で外に出ても又、さぬき市に帰れる仕事場がある。スタバもある。 発信力をつけ、さぬき市の良さを全国に知らせる。</p>	多世代共生
	人が外から来る、戻るために、まず内側から	<p>住みやすい環境は素晴らしく揃っているのに、それを活かさきれていない。 農業を受け継ぐための会社をつくる。 空き家バンクだけでなく、それをオシャレにリフォームした後の家を提供。 デマンドタクシーの利用。 子どもとお年寄りが一緒に過ごせる施設。 とにかくSNSを使った広報。広報の仕方、テクニック</p>	資源のブラッシュアップ
	伝統と進化の融合したハイブリッドシティ	<p>古い学校施設を多目的スペースや事務所にして田舎で仕事をしたい都会の人を誘う。 夜も出歩きたくなる施策手段の構築(さぬき市内の飲食店なら移動手段を割りきなど)→夜呑みに行けない。高松まで行くのは面倒。移動手段は使いにくい。 就職先の確保。国とは別のさぬき市ならではの就農支援策をつくる。商業、農業の後継者の確保(助成や支援策) 子ども、大人も楽しめる施策 公園などをアドベンチャー施設に変える(自然を活かす)</p>	移動支援 就労支援

大項目	プロジェクト名	説明	その他キーワード
移住定住	高齢者が幸せに住めるシェアハウス！ 若者が働ける総合的な複合施設	総合的な複合施設(高速の近く、ショッピング、遊び、食事、体験など) 市民の働く所が増える。 近くに高齢者シェアハウス(施設とは言わず！) 近くの海、うどん屋など一緒に行けたりすることも。 3世代で住めるアパートメント(1F共有スペース、遊べる部屋、バーベキューやパットゴルフ、café)	多世代共生
	我がまち さぬき市 共生PJ	さぬき市の施設を利活用する(予算の都合で削除なし) 住民意識、共助精神を高める。 若い人達の職場、企業が進出しやすい条件で迎える。 企業誘致(優遇する)→若い住民増加→子供が増える 若い労働力(収入が生活の基本)	多世代共生
	若者が育てていく町	SNSでの広告をする。それぐらいの初期投資は仕方ない。 意欲ある学生、企業はたくさんいるため、行政と繋げることでスピードと質の高さは上がる。 若者を永住ではなく、外に出た若者を戻って来させてその人たちに魅力ある町を作ってもらう。 SCNニュースをYoutubeに！ 源内の改革プロジェクトをもっと押す！ 2年でツイッター65 フォロワーはやばい！！ 今回のような場をもっと作る(3時間は必要) これからの時代はいかに無料で提供できるか。	SNS 若者発信 Uターン
	古いも若きも住みたくなるまち	景色の優れた、ここまで開発している大串半島をもっと活かすべき。志度寺、長尾寺、大窪寺の世界的財産を持つさぬき市だから、これを活かすべき。 普及センター、JAの指導を頂いて、「さぬき市にはこれがある」という農産物を指導していただきたい。6次産業化の起業に力を入れてほしい。 高齢化と鳥獣害で遊休農地が増えるのでは。(農地が山林化している。食糧難の時代が来る。下限面積を下げて、農業したい人を増やす)	資源活用 農業(6次産業化)
	古いも若きも住みたくなるまち	デマンドタクシー 休耕田の土地利用、借農園など 商店街の活性化 若者の住みやすいまちにするための企業誘致 ネットを使った町の活性化を図る	公共交通 農業
	古いも若きも住みたくなるまち	1大型商業施設(用地がある) 2若い人が酒を呑めるような場所(イケメンバーテンダーがいる店で女性を集め、そこに男性も集まってきて呑める、眠らない賑やかな町にする。) 車のディーラーが来るようなまち。	商業施設 賑わい

大目 目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
移住定住	老いも若きも住みたくなるまち	学生街として発展していきたいので、人を呼ぶためにも娯楽施設の充実が必要。 若者を地域に引き戻すため、魅力的な就職先が必要。 子どもが作りやすい支援も必要。 若者がしっかり生活していれば、老人もしっかりサポートできる。	賑わい 若者支援
	老いも若きも住みたくなるまち	高齢者用にデマンドタクシー及び琴電ゴールドイルカを導入する。 商店街に若い経営者が参入できるよう政策的な措置をとる。 (税制上の優遇を考える) 防災対策(豪雨および南海トラフ地震)を真剣に考えておく。	公共交通 防災
	若い人が住みたい町に！	若い人向けの施策 市が安く宅地分譲する(高松や三木にないような、庭や畑付きの広い宅地、家が建てこんでいるのではなく、ゆったりとした宅地) 空き家を安く提供 新築したら補助金を出す 結婚・出産したら祝金を出す さぬき市の良さをPRする 子ども子育て施策の充実 働く場所を増やす 若い人の遊べる場所をつくる 市が若い人の要望を聞く場をつくる(若者カフェ)	若者支援
	若者が住みたくなるまちに	今住んでいる人向け ・次世代の教育、子育て支援の充実 ・知名度を上げるようなSNS発信、メディアへの情報提供 ・若者が集えるような場所づくり 今住んでいない人向け ・空き家をリフォームし、住居を提供 ・コミバス運用の見直し	若者支援 空き家活用
	住みたい！さぬき市！！	・何からでもやってみる ①コミュニティバスのあり方 ②空き家活用について(県外移住者、カフェなど) ③市全体で考える！ 市外客が増えるイベントなど(PR)「さぬき市を知ってもらおう」各年ごとに場所を変えて「教えたこと」「知ってほしいところ」を外に向けて発信する。 ・発信方法を試行錯誤してみる ①他班のイラスト説明は目を引いた ②5町(旧町)の垣根を取り除くことを第一に	公共交通 空き家活用 PR
	おーい！集まれ	空き家を市が若者用にリフォームして無料で住んでもらう。 何年か住み続けたら(子どもが3人以上できたら)その家をプレゼントする。→人口が増える！	若者支援 空き家活用

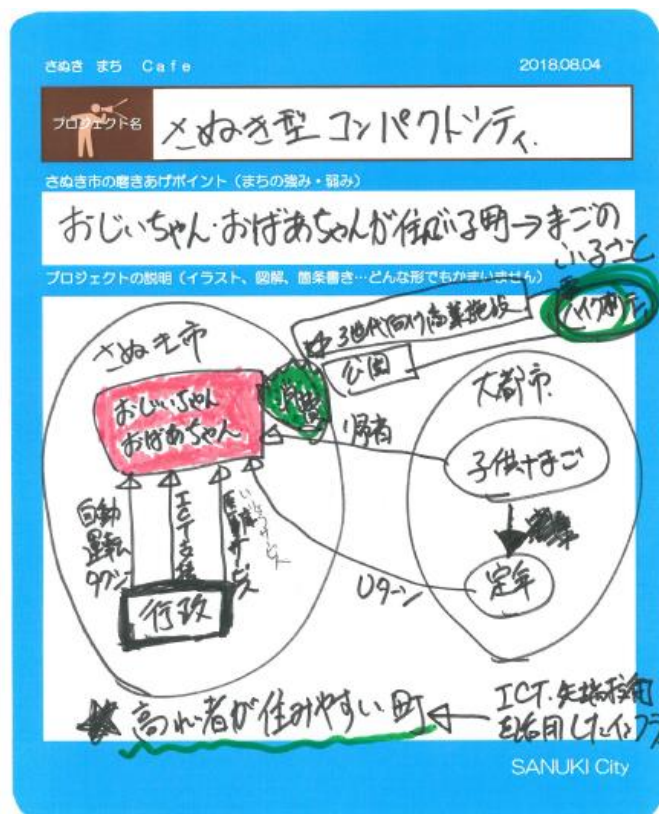
大項目	プロジェクト名	説明	その他キーワード
移住定住	ふるさと「さぬき市」 でゆったりのんびり	高校も多い、学校も多い、子育てしやすいのでは？ 自転車、手袋、凄い企業が多いのでは？ 住むならさぬき市でいいかな、と思って欲しい。 施設も多いから、知ってくれたら行くのと思う。 情報発信！！	定住 PR(情報発信)
	家族大好き	2世帯って不安もいっぱい。でもいいこともたくさんある。 皆で暮らす、素敵な家庭。補助があればきっとみんなさぬき市 に来たくなる。 平日はおばあちゃん、休日はママがごはんを作って 家庭菜園は魅力的、土地があれば皆してみたい 共働きでもおじいちゃん、おばあちゃんが子どもを育てるのを手 伝ってくれる 2世帯住宅には住宅補助を。補助金はうれしい。 こんなプロジェクトSNSにあったら見ますよ	2世帯支援
観光	津田の海にもっと 子どもを・・・	海の上に浮き島だけでなくエア遊具を。マリンスポーツを楽し めるコースツアーなどあれば、子供連れが増加し、クアタラソ・ベ ッセルの宿泊客の増加も望める。 ドルフィンセンターとのつながり。	観光誘客
	あのにぎわいをもう 一度！	もっとPRして、良さを広めたい。 海水浴体験(ライフセーバーさんがいます) 地引き網体験 白砂青松 浜カフェ 近くにはイルカと遊べる場所あり 七福神の松めぐり 花火大会 ビーチバレー カヌーの大会 などなど	観光資源の PR
	市民農園でさぬき 市耕作	宿泊しながらの農業体験	グリーンツー リズム
教育	統合校を！	観音寺市の様に新しい新設校(高校) 生徒が増えれば、JRの利用者も増える。 良い環境の学校があれば移住者の増加も望める。	教育環境

大項目	プロジェクト名	説明	その他キーワード
健康	健康(寿命)プロジェクト	アンチエイジングのために野菜を多く食べて葉酸摂取(400mg以上)を推進して健康寿命を延ばす。料理の提案に加え、温泉などでも美味しい料理を提供し幅広いキャンペーンを実施する。	健康食との関連
	守ってくれるさぬき市	体験者が検査の大切さを学校で話す。避妊だけでなくガンの原因となるウイルスからも身を守るように、また男性もパートナーを守るように。 GPSのついたタグを子どもに貸し出してほしい。そのような企業があることを市民に知らせてほしい。 インスタの共有ハッシュタグ、アカウントを作って写真を募集してフューチャーしてはどうか。#さぬき市の絶景 など	普及啓発 子どもの安全 情報発信
公園	みろく公園のアスレチック改修	子どもがアスレチックが大好きでよく行きます。せっかく自然が豊かでいい公園なのですが、アスレチックの遊具が古いのが残念です。一部でも改修して安全に遊べるようになればと思います。	公園の改修
	ゲートボール兼公園	ゲートボール場に遊具を設置して、公園としても使用できるようにする。→子育て世代安心→高齢者にとっても子どもがいると活力になる。	公園の改修
交通	おいでませさぬき市	コミュニティバスを通学に。土日も同一料金、時間帯も考える。大川バスの本社に寄らず直通便を観光客用に作る。八十八か所に特化したバスも(観光用)人を乗せずに走らせるのはやめる。	公共交通の活用
	タクシー、コミュニティバスを利用しやすく	高齢化社会、車社会のため、高齢者は免許を返納すると引きこもりがちになる。 コミュニティバスがあるが、非常に利用しづらい。 いろんな所に寄る、時間がかかる、タクシーはお金が高い。 その結果、引きこもりがちになる。 ・コミュニティバスの改良、特典をつける ・タクシーの低料金化	コミュニティバス 公共交通
	さぬき市魅力発信プロジェクト	交通・・・観光のために便利に、バス利用の時刻、料金、観光地の整備 発信力・・・地域との交流、自治会(若い人も参加する)、研修参加、ケーブルTV、企業のCM	交通 魅力発信

大項目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
拠点づくり	温泉ゆっくりほっこり	健康、食事、勉強、あそび、くつろぎ、会話、見守り、しつけ等の世代間交流ができる居場所づくり。 子ども食堂。 コミバスで移動できたらいいな。	多世代交流
	総合的・複合的施設の建設	施設の中身 1若い人が将来のことを語ったり、歌ったりできる。 2働き盛りの人が休みの日にゆっくりしたりジムもできる。 3定年後の人がゆっくり温泉につかれる。 4体力を増進したい人が自転車で大窪寺に行ったり、平賀源内記念館にも行ける。 5その施設へ行くとそこにしかない料理が食べることができる。グルメが大切。 以上のことを通じて、口コミで本市の認知度が高まっていくと思う。	多世代交流 多機能
	総合・複合施設の建設	さぬき市に住んでいる身として、他の地域の人にさぬき市の良い所を聞かれても困ってしまう。 逆に言えば何もなかったころが落ち着けるまちなのかも知れないが、それでは町の強みとしてはインパクトが足りない。 そこで若者からお年寄りまでが楽しめる総合施設が必要だという結論に至った。 若者が集まって楽しめる場所、お年寄りが落ち着ける場所があれば、まちとしてのインパクトが強まり、「住みたくなるまち、住み続けたくなるまち」へ近づけるのではないかと。 それに伴い、さぬき市は情報の発信力が他の地域と比べると弱いという意見もあり、その改善も必要であると考えた。	多世代交流 多機能
	さぬき市みんなのまちづくりプロジェクト	世代別のニーズに合った企画、情報発信 子ども：公園、市のお祭り、郷土についての教育 若者：遊ぶところ、ショッピング施設、SNSの活用 子育て：子どもを育てやすい環境、政策 高齢：公共交通機関の充実、ケーブルテレビ →定期的に様々な世代が集まって話し合える場 →「世代別」から「みんなが住みやすい」につなげる。	多世代交流

大項目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
一次産業	起業家募集	さぬき市は農業があり、心身ともにいい。農業や漁業を守る会社を作ってほしい。会社は高齢者(60～70歳)でフル活動ではなく、4時間限度の会社。本物の野菜、魚、果物の味を伝えるため。	農林漁業の活性化
	さぬき市美味しいプロジェクト	<p>オンリーワン「さぬきといえばコレ！」という名物野菜や果物をつくる。(ブランディング)</p> <p>1 農業従事者の確保 気軽に農業に参加できる環境(農業法人化、一般人への農地貸し出し)、指導員など専門家の確保、高齢者の参加斡旋、各種法整備</p> <p>2 名物料理 お菓子などへ展開</p> <p>3 外部PR 人をどうやって呼んでくるか? → SNS? 主要駅など近くの宿泊地 → 観光産業へ活かす(八十八か所、大串の海)</p>	特産品
子育て支援	子育て世代応援プロジェクト	<p>「自然豊かな環境」で子育ていたい方々に対し、セットで支援していく。</p> <p>① 宅地の格安提供、建築補助。</p> <p>② 空き家リフォーム(市がオシャレなリフォームを施し、賃貸、販売する)</p> <p>③ 市民農園・・・農業を気軽に行えるように週末農地を用意する。</p> <p>④ PR・・・SNSで様々な発信(地域の人たちが「自信」をもてる地域に。市外の人達に「自然豊かで子育てしやすい」をアピール)</p> <p>⑤ 就職支援・・・共働きを前提に。ワークライフバランスを重視した企業を増やし、それらを市がPR。職種は少ないが働きやすい企業が多いというイメージづくりを。</p>	

大項目	プロジェクト名	説明	その他 キーワード
まちづくり	さぬき市コンパクト シティ	高齢者が住みやすい町→ICT・先端技術を活用したインフラ	インフラ整備
	Let's 未来へ	社協の体制の見直し。自立した活動を支援。 10年先に必要なものは何か、未来を見据えての活動支援。 古い体制のものは合わせて一つにまとめる。 NPOを作り、独立採算へ(子育てサロン等)←雇用に繋げる。	団体支援
	脱・少子高齢化！ 住みやすさからの 発展 Project	<p>プロジェクトの趣向 さぬき市は確かに良い所。でもこれといった決定打がない。そこで！まずは今あるものを活かしてそこからの発展を目指す。</p> <p>プロジェクトの概要</p> <p>①今ある施設の活用・・・PRの方法が大切(SNSなど) 今すでにある施設を予算の範囲内でどう活用するか。旧町によって差異、それはそれでOK。でも人と人のつながりのコミュニティを広げて活かすことも大事。</p> <p>②総合的・複合的施設の設置 今のさぬき市は何もないからのんびりできて楽といえば楽だけど、若い人が遊ぶ場所がない。これだと若い人は離れていくし、少子高齢化は進む一方。 カフェや、居酒屋、ショッピングモールが欲しい。 高齢者も一か所で全てが済む場所があれば便利。</p> <p>①の収益で②の総合的複合的施設をつくろう！</p>	PR 賑わい



情報発信やPRに関するプロジェクト

- 今回のワークショップでとりまとめてもらったカードでは、「情報発信」「PR」に関するプロジェクトがもっとも多くなっていました。特にInstagramやtwitterなどのSNSを活用した情報発信へのアイデアが多くなっています。
- さぬき市には自然環境、生活環境、教育環境などの「住みやすい環境」が揃っているが、周知につながっていないとの意見もあります。
- 情報発信の方法も単に紹介を行うのではなく、「さぬき市はこれ！」というようなポイントを磨き上げるなど、PR手法にも工夫が必要。

多世代を対象とした移住促進

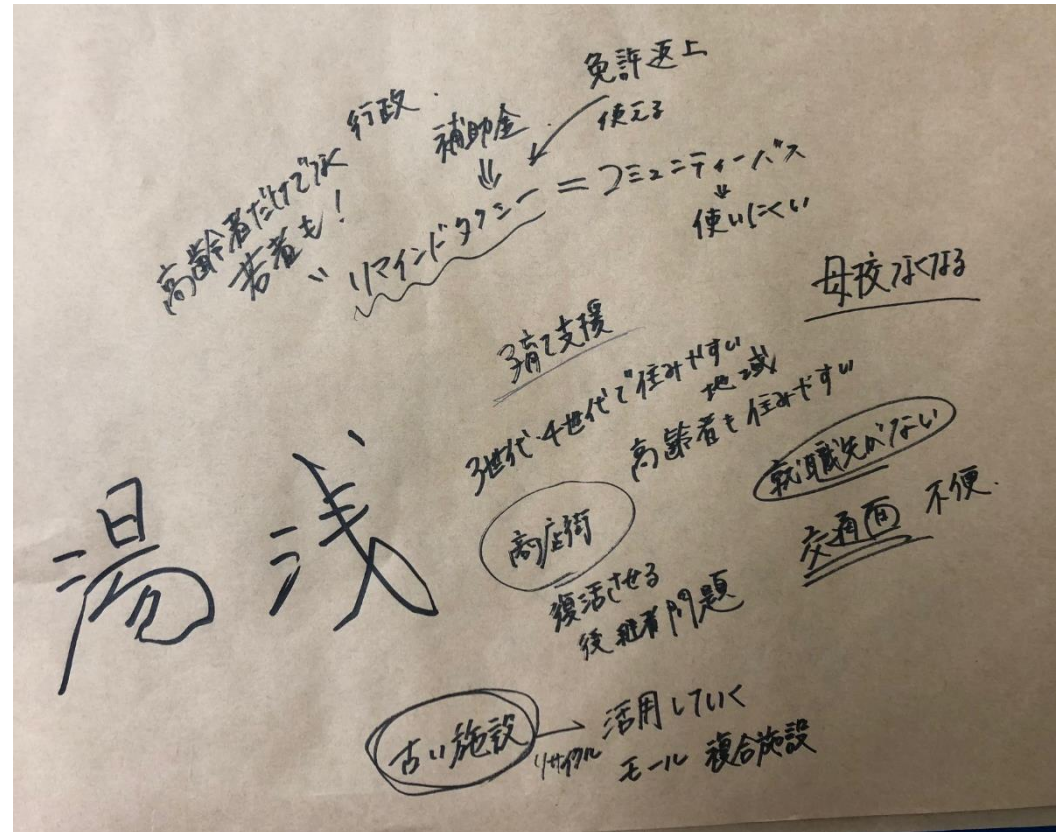
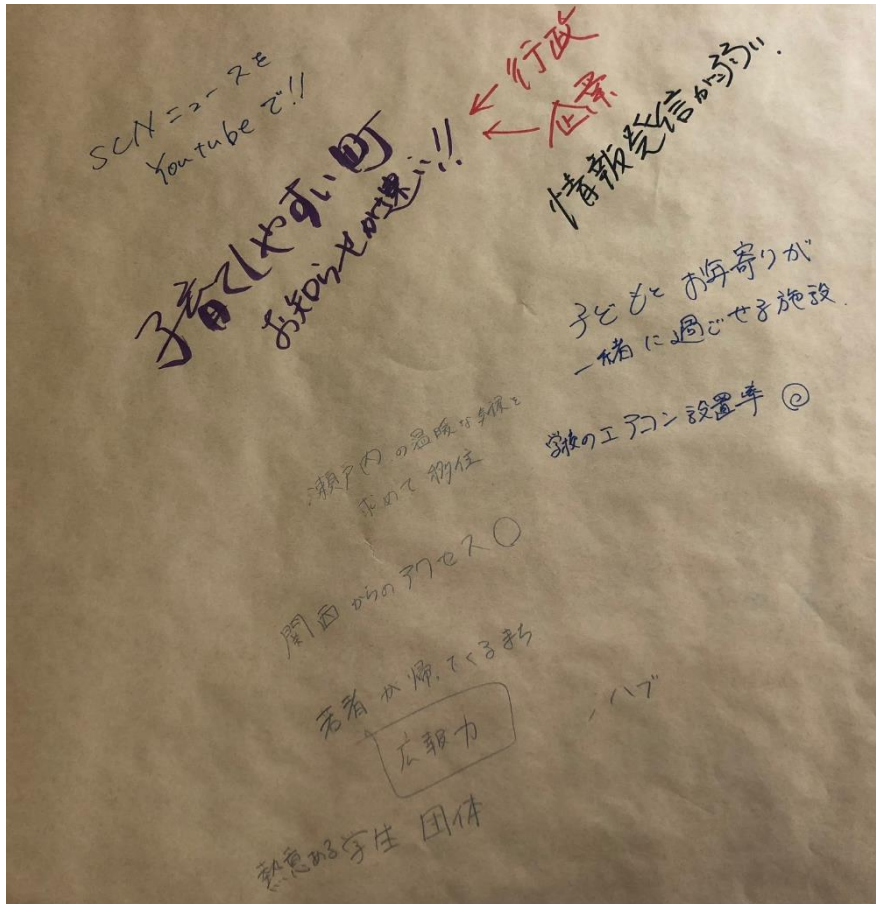
- 移住定住促進では、「若い世代」「高齢世代」がともに生活しやすい移住・定住環境への意見が多くなっています。
- 若者向けへの支援では、就労面（仕事の創出）や商業施設などの賑わいづくり、高齢者向けへの支援では、特にコミュニティバスの有効活用を含めた公共交通の整備などがご意見としてあがっています。
- 空き家をリノベーションして賃貸・テナント貸出しなど、空き家の活用方法についてもご意見がありました。

既存の資源の磨き上げ

- さぬき市の良さ＝自然が多い、災害が少ない、農業・漁業などの一次産業など 多くの要素が挙げられています。そうした今ある良さを生かすことで、住み続けたい・住みたいまちとしての魅力をより高める必要についてのご意見が多くありました。

5 参考資料

(1) テーブルクロスご意見



三木町の子育て世代の支援
 バスが電車の時刻表と一致していない...

子育て
 高齢者
 11月19日の
 議案
 議案

子育て世代の支援
 子育て世代の支援

自民党の政策の在り方、
 もっと国民の元に考えを届けて。
 自派の政策の在り方
 知って欲しい...

新の共産党の在り方
 小田嶋まひり
 (26回)
 スピーチが素晴らしい。

温暖化
 CO₂
 地球の気層薄れている
 この猛暑日 = 地球上の異常さを感じる
 (子供の頃とは全然違っている)

昨年の意見の中に、
 睡眠不足の街は(お)い!
 夜空を見れば
 多摩のどぶろく香街

商店街の寂しさは、たまたま
 客を呼ぶ店がない、
 自動車のディーラーがない。(東武神奈川方面行くと有りだ... だ?)

昔、家庭は格差がなかった。
 今は、格差が大きい。
 地元企業に就職先が少ない。
 大学進学し都会に出ると帰ってこない。
 給料低く、条件が悪い。
 もっと内容の良い企業誘致。
 安心は、生活(地)...

福岡地方
 昨年の集計的降雨
 後(ま)は 超豪雨...

★ 地元には就職先がない

★ 商店街のいきおいを
 とりもどす

★ 今あるものを再活用
 子メール

★ 子ども子育て支援
 ★ 高齢者対策

遊ぶ場所がない
 (公園がない
 若い人が集まる場所がない)

職場を選ぶ
 ↓
 その近くに住む
 (その市にいい職場を)
 (・便利なコンビニが
 ・スーパーもある)

三木町に住む人が多い!
 ・医療面が充実 (中学生まで医療無料)
 ・職場から近い
 ・お祝い金
 ・子育ては楽な環境
 (24時間保育所あり)
 子育て世代が「住みたい」と思えるまち

車に乗れなくはな... 通勤に困る
 交通の便が悪い
 近所にお店がない

一次産業の
 活は

さぬき市の中で最もいいところはないところ
 に差がある。

SNSでの発信
 市民農園... 家で食べるだけの野菜を作る土地
 他県から野菜を希望する人へ支援!!

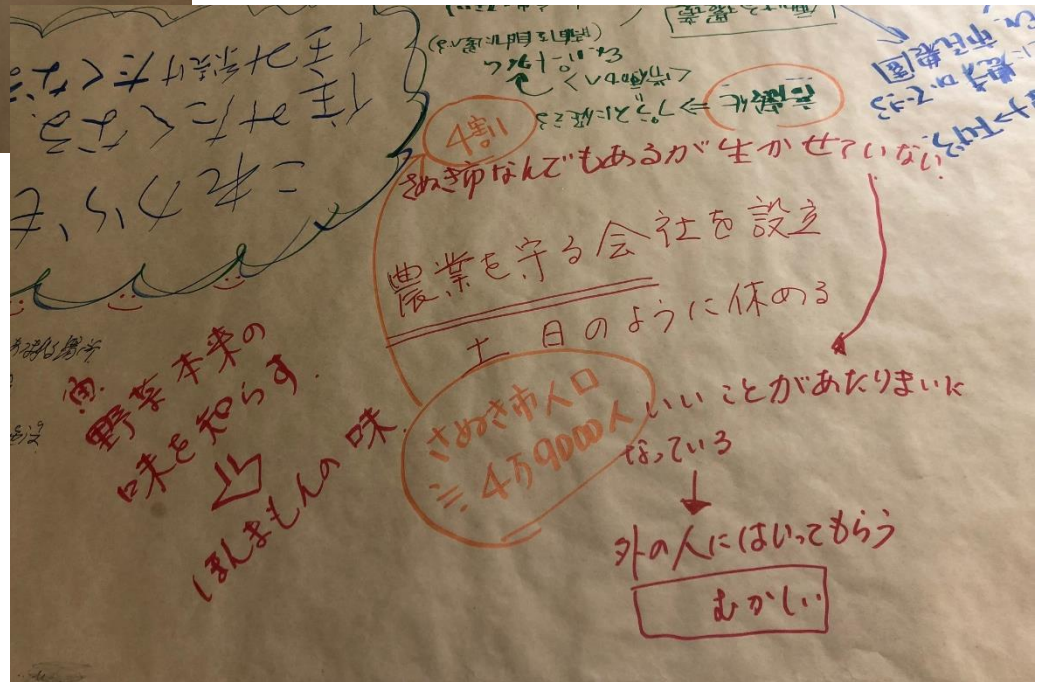
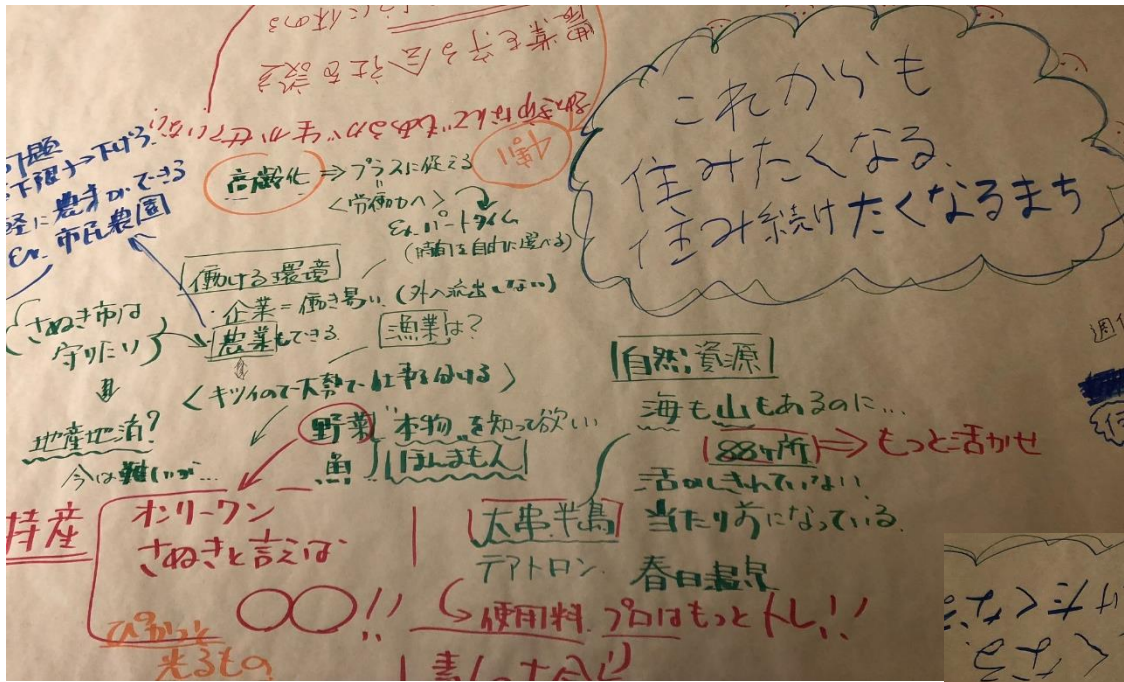
田舎は
 公園いらない

農業の会社
 ・美味しい野菜

テレビ局
 → SNSで情報

平日: おばあちゃんのご飯
 土日: お母さんのご飯
 → 二世帯住宅で協力

二人家族と
 つくりたい



市の情報がHPを見ないとわからない。

アピール. 広報活動の工夫。

SNSの活用(綺麗な風景写真だけでなく)

若い人には刺激が少ない。
住環境は良いけど。

大学で県外へ出てそのまま県外で就職。
言校でさぬき市外へ出るとそのまま出てしまう。
さぬき市の愛着がなくなる。

さぬき市の魅力は住んでいるとよくわからない。
魅力はこれと言えないものが... 市の良さもわからない。

何かに特化して取り組む。

コミュニティズ 市民のニーズに合わせてダイヤを組む。
どこでも乗り降りできるよ。

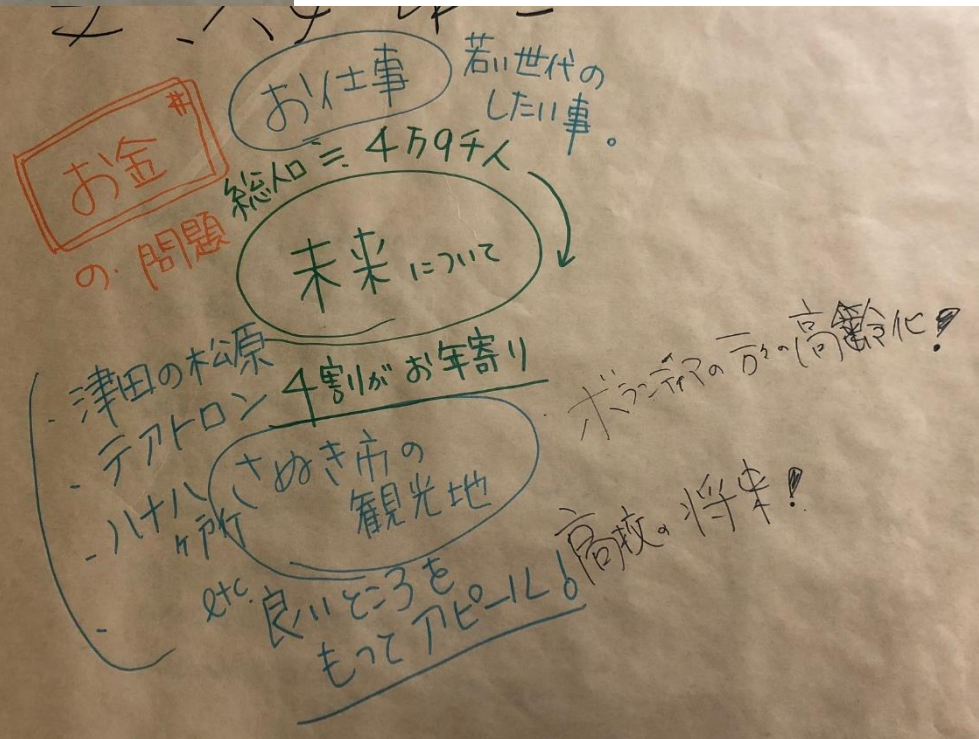
さぬき市に就職先が少ない。

勤め先が高松市であることが多いので
高松市に住んでしまう。

三木町: 若い人が多いのが
気になる。若い人向けの施策充実。

三木町: 東かがわ市の子育て政策が良い。
三豊市は家を建てたら100万円補助。

空き家の活用
分譲住宅の価格が高い(若者が買えない)



住みたくなるまちとは？

三木町には住みたいけどさぬき市には…。

三木町は高松に近い地理的有利さもある
温泉施設つぶすことと考えるだけでなく、
高齢者向けに利用するなど。

三木町は子どもの医療無料化
三木町は県内住みたい町 No.1

さぬき市に学校が少ない
市外の学校へ出ると、さぬき市への愛着がなくなる。
じいちゃん、ばあちゃんに住んでいる町。ふるさと意識が乏しくなる。
という意識

福祉と教育には力を
入れてほしい!!!

も

けたくなるまち”

台風等の被害
少ない◎

若い世代に住みたくなるまち SNSで発信!

魅力PR不足?

公園の不足

地本の人材が逃げる場所ではない。

さぬき市

5万人をこえた……。

超・超・超 高齢の町!!

出生率も…

Uターンしても 就職が…

↓
起業
NPO

自分の力で
して